



2020年7月10日

各 位

会 社 名 株式会社麒麟堂ホールディングス
 代表者名 代表取締役 寺 西 豊 彦
 社長執行役員
 (コード番号 3194 東証第一部)
 問合せ先 執行役員 小 林 剛 久
 経営企画部長
 (TEL. 06-6394-0100 (代表))

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2020年4月10日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2021年2月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2020年3月1日~2020年8月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A) (2020年4月10日)	百万円 67,100	百万円 1,520	百万円 1,850	百万円 880	円 銭 77.66
今回修正予想 (B)	69,500	2,300	2,690	1,570	138.56
増 減 額 (B-A)	2,400	780	840	690	
増 減 率 (%)	3.6	51.3	45.4	78.4	
(参考) 前期第2四半期実績 (2020年2月期第2四半期)	66,258	1,280	1,737	822	73.24

2. 2021年2月期通期連結業績予想数値の修正(2020年3月1日~2021年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (2020年4月10日)	百万円 134,200	百万円 3,160	百万円 3,900	百万円 1,860	円 銭 164.15
今回修正予想 (B)	135,200	3,410	4,150	2,170	191.51
増 減 額 (B-A)	1,000	250	250	310	
増 減 率 (%)	0.7	7.9	6.4	16.7	
(参考) 前期連結実績 (2020年2月期)	133,279	2,797	3,711	1,787	158.70

3. 修正理由

2020年4月10日に公表した2021年2月期連結業績予想については、新型コロナウイルス感染症の影響を織り込んでいないため取り下げ、影響を加味した業績予想へ修正いたします。

(1) 2021年2月期第2四半期(累計)の連結業績予想の修正

新型コロナウイルスが感染拡大するなか、当社グループは、地域の皆様の健康と日常生活を支える必需品を提供し続けるというドラッグストアの使命を果たすことを第一に考え、慎重な感染防止策をとりながら、可能な限り店舗営業を継続しました。マスクや消毒用アルコールなどの新型コロナウイルス関連商品への需要は急拡大し、外出を自粛した多くの人によるいわゆる「巣ごもり需要」が発生し、食料品などの販売は増加した一方で、化粧品への需要は低下しました。また、医療機関への受診者減少により、調剤の処方箋枚数は減少しましたが、長期処方が増加したため、処方箋単価は上昇しました。緊急事態宣言が解除された後も、同様の動きは続いており、計画を上回る見通しです。

以上により、当第2四半期(累計)連結業績は、上記「1. 2021年2月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正」のとおり、売上高・営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益いずれも前回発表予想を上回る見通しとなりました。

(2) 2021年2月期連結業績予想の修正

下期予想につきましては、マスクや消毒用アルコールなどの新型コロナウイルス関連商品の需要については現時点と同様の傾向が続くと見ておりますが、その程度は変動すると考えております。一方で、化粧品の需要低下や調剤の処方箋枚数の減少などは続く見込みです。さらに、当連結会計年度の新店のうち、新型コロナウイルス感染拡大による影響で、出店の遅れている一部店舗の売上高並びに利益計画を再考いたしました。

以上により、通期見通しにつきましては、当第2四半期(累計)連結業績予想数値の上方修正に加え、下期見通しを反映し、上記「2. 2021年2月期通期連結業績予想数値の修正」のとおり、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益いずれも前回予想を変更いたします。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上